

7日 火曜

テモテII

3:10 しかし、あなたは、私の教え、行動、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、
3:11 またアンテオケ、イコニオム、ルステラで私にふりかかった迫害や苦難にも、よくついて来てくれました。何というひどい迫害に私は耐えて来たことでしょうか。しかし、主はいつさいのことから私を救い出してくださいました。

3:12 確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。
3:13 しかし、悪人や詐欺師たちは、だましたりだまされたりしながら、ますます悪に落ちて行くのです。

3:14 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの人たちからそれを学んだかを知っており、
3:15 また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。
3:16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。
3:17 それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

クリスチャンに限らず、真理や正義に生きようとする人は、この世では苦しいことがあります。人の形が罪ゆえに壊れてしまっているからです。この世の正義でさえ、そのために犠牲を払って勝ち取ろうとする人が大勢います。まして永遠の命のため、永遠の価値のために犠牲を払うのは当然といえば当然のことです。



とはいえ初代教会の時代には、「…ひどい迫害」があり、クリスチャンたちは猛獣の餌食にされたりしたのですが、それでも多くの人々が天国の希望のゆえに信仰を守り通したのです。私たちもときには厳しい選択に迫られることがあるでしょう。苦しみを逃れるために、または成功を手に入れるために信仰から離れるか、それとも「だましたりだまされたりしながら、ますます悪に落ちて行く」ことをよしとしないで、信仰を守り続けるか…です。

日頃から小さなことでも主のみこころを選び取っているなら、間違いに落ちることはないでしょう。小さなことに忠実な人は大きなことにも忠実…とあるように。そのような神様に忠実な人は聖書を読み、また神のことばである聖書に忠実です。生活、人生の目的、教会の在り方などなど、聖書にしっかりと聞いて歩んで行きましょう

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

